昭和26年 1月25日(木曜日) 第204號　磐城毎日新聞

種三第 (一)可認物便郵 (昭和二十五年十二月六日 第621號 國鐵特別扱認可 新聞紙)

磐城毎日

衛生部長 市地町平兵衛 社長 大和田與 發行所 福島縣平市 15丁目12番地 株式會社 磐城毎日新聞社 編輯兼印刷人 遠藤孝倫 發行人 電話(平)一一〇番 定價1ヶ月50円 1部2円 【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

市民の健康保全に朗報

療養所敷地を檢分

結核驅逐

平市地區は厚生省模範的近代的の完備した結核療養所の設立計畫が進められている、計畫の中心は縣立平病院猪狩院長で福島縣の結核豫防費として厚生省から約五千萬圓の割り當てがあるのでこれに着目した猪狩院長はこの豫防費の一部で平市に結核療養所の設立を立案し縣當局とひそかに折衝を重ねていたもので橋縣衞生部長は二十四日午前十一時着磐越線列車で來平、平驛より直に猪狩平病院長、馬目縣議、阿部平市助役、木村衞生委員長其他關係者の案內で療養所建設豫定地の實地檢分を行つた

平市地區は厚生省から結核の浸潤地帶(結核性死亡率の最も多い地域)として指定され全國的に見て結核性患者が多數占めている事を統計的にも立證されて居る米國側では五ケ年立至の上からは勿論平市發展以內に日本から結核を驅逐するとの方針もあり市當局では市民の保健上からも由々しい問題としてこれが對策に腐心しつゝあつて市營の結核療養所の設立等も考慮されていたが平市內に國立若しくは縣立の相當大規豫定地の實地檢分を行つた

予定敷地は下荒川

療養所建設豫定地は市內下荒川龍門寺の東側で猪狩平病院長の義母和田セキさん所有の山野地帶で人家からも離れ南面して山を背負い宅地用地の最適地として着目していた地域である、これが實現すれば市民の健康保養のために位置し交通の便も申し分なく平に於ける最も勝れた健康地として舊飯野が平市合併前から市當局では住場を圖案化しこれに平市のマークを入れたもので來る二日七日から十三日までの一週間このスタンプを使用する事になつた

四時川の用水路

工費二千九百萬圓で着工

平土地改良事務所では錦、勿來兩町及び川部村の二町一ケ村に亘る灌漑用水路の開設を計畫し設計を完了し縣に對して着工方申請中の處この程縣工事として着工する事に決定したので來る二月十六日錦町で地方有志多數を招待し盛大な起工式を擧行する事となつたこの用水路は鮫川の支流四時川より河水を引き水田の灌漑用に供するもので延長六千米、灌漑反別四百十三町歩で總工費二千九百萬圓

二十五年度、二十六年度の繼續事業として施工されるのでこれが完成すれば同地方に於ける食糧增產に寄與する處が大きく地方開發のため非常な期待をかけられている

市競輪前夜祭

二月六日市公會堂で

平放送所では來る二月六日午後一時より舊正月元旦及平市競輪開催を祝つて、市公會堂に於いて第四回全國ノド自慢演通地區豫選を行い同日午後六時より競輪前夜祭として第二十一回歌の花籠を小川アナウンサーの司會により開く事になつたノド自慢は二月十一日錄音で放送し歌の花籠は當日午後七時半より八時まで中繼放送する、歌の花籠の出演者は羽田春光(常磐內鄉礦)早坂玲子(湯本高女)栗原幸男(常磐鹿島礦外に郡山より童謠の荻野路子(金透小學校)で伴奏は雲雀樂團が豫定され多彩な催しで入場料四十圓

悪性感冒に注意

老人、幼兒に餘病の懼れ

例年にない寒さを迎えて更が急に出る樣な華かな現像に昨年末天候が續き空氣が乾燥していたため感冒が非常な勢で猖こうを極め昨年十二月中旬頃が最絕頂期で各戶一人位は感冒におかされて居た模樣であつた、最近漸く下火の傾向であつたが、またこの二、三日寒氣の本格的な到來と共に再びもりかえして來た觀がある特に本年度の感冒は細菌ビールスの毒性が强く消化器系統をおかされ余病の併發する恐も强い、また咳や熱

常磐炭の輸送

見透しは順調

二月分の常磐地區各炭礦の輸送打合會は二十三日午後一時半より各驛別所在の炭礦より地區代表一名づゝ出席石炭協會階上に於いて開かれた、驛案二月分二十八萬トンに對して炭礦側希望トン數三十三萬三千トンで其の差は五萬三千トンと開いて居るが舊正月も控え出炭は炭礦側の言葉程でなくほゞ輸送は順調に行くものと見られてゐる

高校入學の打合せ

廿七日磐高で開く

來る二十七日午前十時より磐城高等學校に於いて平市石城郡及双葉郡の南部及茨城縣北部の中、高等學校長約六十名が參集、三月十日に實施される高等學校入學試驗について募集人員其の他詳細な具体的事項について打合をする

平競輪開催を祝い

郵便局で記念スタンプ

平郵便局ではかねてから平競輪の開催を祝つて仙台郵政局え記念スタンプの記可を上申中であつたが二十日附で許可された、圖案は平局で作成したもので平競輪場を圖案化しこれに平市のマークを入れたもので來る二日七日から十三日までの一週間このスタンプを使用する事になつた

贊助者に贈る母子草

地方事務所で配布

石城地方事務所では縣福祉協會から母子援護資金運動に協力贊助して呉れた町村民に贈る母子草が二十二日到着したので二十三日各町村に向け發送したその大きさは約十糎、縦と黄で母子草の原形を形造つた可愛い記念章である、各町村では民生事業助成會が主体となり婦人會の協力の下に郡割當目標額四十三萬六百圓を達成すべく努力を續け泉村が先づ一番槍で十九日、目標額を完納した

教組宮本支部長

全國大會に出席

教員組合の石城支部の官本支部長は金成書記長は二十四二十五の兩日東京都神田教育會館で地方公務員組織强化及文化問題について開かれる日教組全國大會え出席のため廿四日早朝上京した

平商工會議所新制定の定款 (5)

第四章 役員 續

第三十一條 會頭、副會頭任期三年とする但し重任を妨げない

役員は任期終了後と雖も後任者の就任する迄引續きその任務を行うものとする

補缺で選任せられた役員の任期は前任者の殘任期間とする

第五章 參與及び顧問

第三十三條 本商工會議所に參與若干名をおく

參與は重要事項に參與する

顧問は學識經驗ある者及び本商工會議所に功勞ある者の中から會頭が役員會の承認を得て委囑する

參與は學識經驗ある者の中から役員會の推薦によつて會頭が委囑する

第六章 事務局

第三十四條 本商工會議所に顧問若干名をおく

顧問は本商工會議所の事業の遂行に關する重要事項に就き諮問に應ずる

第三十五條 本商工會議所の事務を處理するため事務局をおく

事務局長は事務局を統轄する

第三十六條 事務局には事務局長一名をおき專務理事がこれに當る

第三十七條 前二條の外事務局に關して必要な事項は役員會の議を經て別に定める

第七章 會計

第三十八條 本商工會議所の會計年度は每年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

第三十九條 本商工會議所の經費は會費、手數料、使用料寄附金及びその他の收入を以てあてる

急告!!

皆樣本日より前賣券開始

來る二月一日より三日迄當館に於いて公開致します

總天然色英國映畫バーナー、ドショウ原作「シーザーとクレオパトラ」の前賣券を發賣致して居ります

既に歐米諸國批評家より嵐の如き絕賛を浴びた雄大なるエヂプトの砂漠を背景に展開される雄將シーザと一世の妖花クレオパトラの戀物語を皮肉つたショウの筆舌

前賣券場所 仙台屋 丸友書店 丸ほん 宮川床屋 交通公社 魁文堂 山家運動具店 菊屋樂器店 當日七拾圓 前賣五拾圓 平文化會館

毎度有難う御座います

店の安い自家製造の家具

店非當是非命用の家具

スタンス 本塗タンス 桐タンス

種々各 洋服タンス

平市新川町四六ヨロシ番

伊東家具店電

平市大町工場

本縣に始めて出現するトレクリン應用純ドライクリーニング機の設置に當り

兼て御好評を頂いて居りました當舍獨特のドライクリーニングも文化水準の向上と共に尙一層技術の進歩とサービスに心掛けて居りましたがこのたび從來のドライクリーニングよりも一歩進んだ高級洗濯液トレクリンを應用の純ドライクリーニング機を隣入設置致しまして近日中に到着致しますなりますと本機は全くドライクリーニング機の最高級機で其の卓越せる洗濯効果は實に百%で必らず御客樣に御滿足を頂けるものと信じております

一九五一年新春に當り新設いたしますクリーニング界の王座を占める本機の出現に何卒御期待下さい

平市田町五一 電話六六一番

合名會社 白榮舍 ランドリー クリーニング部

磐城名産 鰹節 鹽辛

皆樣の魚店 丸一屋

平市四丁目 電話二一三番

昭和25年7月6日
（二）第三種郵便物認可　昭和26年（1951）　磐城毎日新聞　1月25日（木曜日）第204號

小名濱の失業救濟事業

新設の對策委員會で立案

小名濱町議會では失業對策一助を得る工事を興すべきであるとの結論に達し檢討の結果燕原川の堤土取拂い河底浚渫工事、都市計畫中の第一區劃整理組合の再出發によつて宅地、通路の改修工事を實施し二十六年度における失業救濟の根本對策とする事に意見の一致を見町當局と打合せの上其旨縣に陳情する事に決した、なお失業對策委員は小野(作)金澤、馬上、小野(禮)木村の五町議である

イチ、酒井忠二、小室正行、永山光重、伊東勝雄、渡部次郎、根本三郎、根本重也、石井司、長瀨富彌、須藤榮一、安齋保、高萩傳重、宍戸武雄、鍵谷健三、松崎幸太郎、日野利春、菅本庄司

落選組の登錄は再登錄を要する

お米の登錄店で落選の憂目を見たのは神谷農協（平田八十治）紙屋米店（長瀨延太郎）北目屋米店（折笠彌之）の三軒で當選者は二月八日縣から告示される譯けで落選の店舗に登錄した消費者はこの告示の日から十日以內卽ち二月八日から同月十七日までの間に當選した店舗に再登錄をしなければならない、この再登錄の取扱は次の當設登錄所で行う

平市役所商工課、飯野、神谷兩支所

尙今後移動のあつた場合登錄變更等の手續きも右の常設登錄所で取扱う事となつている

平のお米屋當選決る

番狂せもあり落選三軒

四十三軒の新舊お米屋さんが入り亂れて登錄者の爭奪戰を演じた平市の主要食料の登錄も去る十六日一齊に行はれ更らに登錄漏れを市商工課と飯野、神谷兩支所で受けつけ二十二日でこれを締め切り二十三日市役所に於いて消費者代表並に業者代表立會の上當落の審査を行つた結果規定の四百名以上の登錄者を獲得した四十軒が當選と決定、落選は次の三軒である、當選店舗は次の通り（順序不同）で神谷農協の落選と云う番狂はせもあつた

松崎長太郎、花澤久一郎、三森猪之介、石島德長、伊藤實、古田部春吉、木田敏政、鈴木新平、松本利三郎、江尻忠平、馬目玉彌、關內信二郎、久保木忠夫、小野寺治雄、丹野周一郎、山崎フク子、加藤一三、坂本ナツ、奈良鐵彌、高木保次郎、岡田勇治、片寄勝子、志賀

小名濱通學道路の改修

町議經濟委員會で審議

小名濱町議會經濟委員會は二十二日午後一時より町長室で開催した、提案議題は第二中學校が愈々完成した曉其通路は屈曲が甚だしいので屈曲のすくない通學道路を開設する案を審議したこの道路の改修は都市計畫とにらみ合せ諏訪神社參道を根幹として第二中校に通じようとする案でこれには故小野しん平町長時代に計畫した地區的區劃整理の方針を生かし諏訪神社を右に折れる道路觀音作に向つて幹線道路を開き、それより左に校門に向ふ新道路を開設する案が採用されたがこれを二月定例町會に提案し更らに議會の審議に附する運びに至るものと見られて居る、それと同時に富ケ浦通路の改修も立案されたが經濟委員會の當を得た立案であると評せられている

小名濱通信

小名濱町は學校官衙に奉職した公人で遂に土着として小名濱町に民化する人々は少くない殊に學校側に多いようである先づ第一に福尾伊太郎君が居る會田校長の後任として首席から昇格し校長の椅子に坐り爾來廿年の校長生活から大正十四年の三月で當選者は二月八日に小名濱町信用組合專務理事として敏腕を振つて居る福尾君の後任に西山直三郎君がある西山君も師範卒業と同時に赴任して來て、師範の訓導として福島師範に戻り再び福尾校長時代に首席として再赴任し、更に勿來校長に榮轉し福尾君の退職と同時に校長として三度び赴任して町立高女校の校長として昭和十八年迄奉職して退職し現在は授產場母子寮の主事として町更生課に奉職して居るが、西山君も校長時代に住宅を建設して小名濱町民に歸化して居る、西山君の後任が現校長の高木長年君だが最近宅地を買收し住宅公園の融資に依つて住宅の建設中だから恐らくは小名濱町を墳墓地として終始する事は疑ふの餘地がない、更に第二の增子校長もそうである、永い勤續者たる關係から西山君時代に首席となり、內鄕第二校に校長となり數年前第二校長として返り咲きして逆に小名濱町を墳墓の地と定めた樣で高木校長と同樣宅地を買收し目下住宅公團の融資に依て着々と住宅を建設して居るなどは數へ來たれば學校長は數へ子の緣故からでもあらうが其外松本龜次郎君も歸化して居る、官界にも多分にあるが以上學校先生の分を調査して書いて見ても判る樣に以上の樣相をなして居るから奇異とせねばならない

文藝欄

風に乘つて

シベリヤの大地　より6

ヨシタロウ

何處を向いても
續く限りの大地
大豆畑の向うに
馬鈴薯畑が續き
そしてその向うに黃一面
のヒマワリ畑が續く

坦々としたダーロウガ
運動場のラインの如く
その畑を突ばしる
アメリカンスキーの
マシンナに乘つて
私達は名も知れない
土地に向う

一年に一回か二回の
出張作業は
私達單調なラーアゲル人
にとつて
こよなき喜びである
子供等が修學旅行を
うれしがるやうに

冷たい風がホホを
叩いても
私達の心は躍る
未知の世界に待つて居る
仕事がどんなものでも
私達の顏は明るい

大きな束縛から
解放されることの
よろこびが
私達を夢のくにに
もつてゆく

マシンナは
私達の夢をのせて
走る

走る
日向草の花が
風にゆれてる

作詩者一言
私はシベリヤに四年の才月を暮して來ました、そこでシベリヤ生活のつれづれをしたゝめこの紙上にのせ引揚者或ひは未歸還の人々にもあの頃の思ひ出を新にして多事多端な國際情勢の中に引揚者として恥ぢない心構へをもたれる樣祈つています

拾い讀み

そのお婚さんが酒ばかり飲み家の中はうまくいかなくなりそのうち不始末から失燒してしまつた、そればかりかそれと時を同じくして亭主には逃られ、おばさんは泣く〳〵轉々として生活場所を變え平地方に來て近邊の農家の飯炊をしたりして永い年月のうちに小金も貯り品物も出來たが、最近これらのものを全部盜難にかゝり折角貯めたものが一瞬に失つたので働くのがいやになつて飯場を出てきてしまつた、それから全然働いて居ないので泊るところは勿論食物さえ滿足でなくもらつてどうやらその日をしのいでいるとのこと、どうして働かないのと問うたら働きたくとも品物を盜まれたので厭になつたとの一點張りそこで私は品物と命を取換える樣な眞似をしないで働きなさいそうすれば飯も品物も再びたまるでしょう、スキ腹をかゝえている必要もないぢやないかとそれはそうだが品物はなし移動證明がないので安定所で世話をしてくれないから駄目だと濟したもの少しら氣が變なのか？、放浪癖があるのか本年に入つて一日も働かずどうやら生命を維持しているのには目を丸くした

絶對德用　文化木炭（厚生大臣推賞）
製造販賣　（卸＝小賣＝配達迅速）
各種燃料取扱　有限會社　共榮燃料工業所
平市正月町66（電話1284）
小名濱出張所（登記所前）

平本局前　電五二八　飲食とお酒の店　柳

本場＝牛豚肉＝自慢
配達迅速　第一線屋　電539
第二線屋　電794